

2020年6月29日

TSUBASAアライアンス参加行による 「オリジナルエコバッグ」共同作製について ～TSUBASAアライアンス連携施策～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）ほか、TSUBASAアライアンス参加行（以下、TSUBASA行）^{注1}は、持続可能な環境の保全に資する取組みとして、「オリジナルエコバッグ」を共同で作製しましたので、お知らせします。

本件は、TSUBASA行が2019年5月に制定した「TSUBASA SDGs宣言」で掲げる「環境保全」という共通課題への取組みとして、国内外で対応が急務となっているレジ袋やペットボトルなどの「海洋プラスチックごみ」問題の啓発の一助とすることを旨とするものです。当行では、このエコバッグを、お取引先などに配布していく予定です。

なお、TSUBASAアライアンスでは、こうした取組みをより多くの方々に知っていただくため、環境省が海洋プラスチック問題解決に向け展開する「プラスチック・スマート」キャンペーン^{注2}に参加いたします。

TSUBASA行は今後も「TSUBASA SDGs宣言」に基づき、各地域の持続的な成長に貢献するため、知見を結集し、社会・環境問題に積極的に取り組んでまいります。

注1 武蔵野銀行、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、滋賀銀行、琉球銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。

注2 海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、個人・企業・団体・行政などの取組事例を収集・紹介し、各主体がそれぞれの立場で出来る取組みを応援するキャンペーン。

以上



本件に関するお問い合わせ先
総合企画部 アライアンス推進室 關本
048-641-6111（代） 内線 2162

TSUBASA アライアンスは地球環境の未来のために「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加しています

マイバッグを持参し、レジ袋の削減につとめましょう!

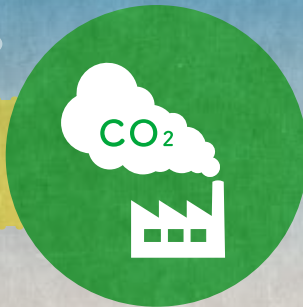


「プラスチック・スマート」とは

ポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込む「海洋プラスチックごみ」が日々発生しています。「海洋プラスチックごみ」は長期にわたり海に残存し、このままだと2050年には魚の重量を上回ることが予測されるなど、地球規模での環境汚染が懸念されています。こうした問題の解決に向けては、個人・企業・団体・行政などのあらゆる主体が、それぞれの立場でできる取り組みを行い、プラスチックと賢く付き合っていくことが重要です。環境省では、そうした取り組みを応援し、さらに広げていくため「プラスチック・スマート」キャンペーンを実施しています。



マイバッグ持参によりレジ袋を使用しなければ、CO₂排出量の削減にもつながります。



ほとんどのレジ袋は原料が石油です。マイバッグ持参によりレジ袋を使用しないことで、省エネにもつながります。

TSUBASA アライアンスオリジナル エコバッグ



折り畳んで内ポケットに小さく収納できます

このエコバッグは、オーガニックコットンを使用し製造しております

オーガニックコットンとは、オーガニック農産物等の生産方法についての基準に従って2~3年以上のオーガニック農産物等の生産の実践を経て、認証機関に認められた農地で、厳格な基準を守って育てられた綿花のことです。

また、本バッグの製造は、国際的に実施されているSMETA監査（Sedex Members Ethical Trade Audit：労働基準、安全衛生、環境、ビジネス倫理の国際監査）を毎年受けたサプライヤーが行っています。



*写真はイメージです

地銀最大のアライアンスを進化させ、さらなるシナジーを追求

TSUBASAアライアンスは、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組みです。

営業地域の異なる10行の広域ネットワークを活用することで、お客さまへより付加価値の高いソリューションの提供に努めてまいります。

